

令和7年度大岡校区 二十歳の集い

日 時 :令和7年1月12日 午前10:00時開式

場 所 :沼津市立大岡中学校 体育館

主 催 :大岡連合自治会 二十歳を迎えた方々:男性:73名 女性:68名 計141名

開始の辞 司会:松川裕門さん・雲川初葉さん

中学校卒業して以来久しぶりに再会する人ばかりなので、皆さんとお会いできることを心待ちにしていました。こうして、皆さんと一緒に特別な日を迎えられることを嬉しく思います。

久しぶりに思い出など語り合えたらいいなと思っています。それでは今日は素敵な時間を過ごしましょう。

と司会者から挨拶があり、つづいて国歌斉唱を行いました。

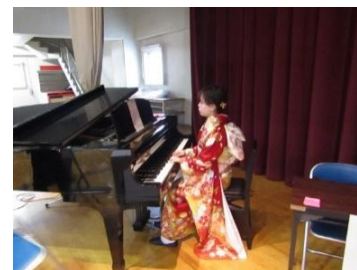
国歌斉唱、ピアノ伴奏 御厨 麻理乃さん、
指揮者 矢倉 琳太郎さん



司会者、雲川さん・松川さん



家族で記念写真



御厨 麻理乃さん



矢倉 琳太郎さん

上田 素行 大岡連合会長式辞

晴れて二十歳という節目の年を迎えられた皆さん、



大岡連合会長上田素行氏

おめでとうございます。本日、このように立派に成長され、希望に満ちた前途洋々な皆さんのお姿、顔を拝見しますと、皆さんを今日まで愛情深く育ててこられました、御両親をはじめ、御家族の皆様にお慶び申し上げます。

学校において、ご指導いただきました諸先生がたや、温かく見守っていただきました地域の方々にも、改めて敬意と感謝の念を表したいと存じます。

沼津市では、地域を挙げて皆さんをお祝いするために、市内17会場(中学校区別)で「二十歳の集い」を開催しております。この大岡の式典は、「二十歳の集

実行委員会」が中心となって、心を込めてご準備して頂きました。その理由は、みなさんが自分の生まれ育った地域に、感謝と愛情を抱き、地域を支える新しい担い手となることを願っているからです。ご存知のとおり、民法の改正により、令和4年4月1日から成年年齢が引き下げられ、「年齢18歳をもって成年とする」ことになりましたが、沼津市では今後もこれまでどおり「二十歳」を対象に「おとな」への節目の機会として、お祝いをする式典を開催する予定です。

皆さんが中学校を卒業されてから数年の間に、実に洋々なことが世界中で起きています。これから先も、社会は大きく変化していくでしょう。若い皆さんに対する期待は、変わるどころか、ますますおおきくなっています。「予測不能に変化していく時代」に臆することなく、洋々な変化ごとに挑戦する人になってほしいと思います。何事もプラス思考で、前向きにとらえていける考え方を磨き、逆境にくじけず、強く生き抜いてください。これからの国や地域社会を担う皆さんの力に大きな期待を寄せております。

終わりに、この「二十歳の集い」の開催にあたりまして、ご協力いただきました地域の皆様をはじめとした、全ての関係者に、あらためて心から感謝申し上げます、式辞といたします。

来賓祝辞 在校時 中学校長、真野 和浩氏

おめでとうございます。

御家族の皆様のお喜びも、ひとしおのこととおもいます。この折り目に、今後の生活への思いを強め、一層の御活躍を期待します。



各担任先生方よりのお祝いのメッセージ頂きました。 当時校長の祝辞真野 和浩氏

来賓

感謝のこたば 成人代表・渡邊 爽羽さん

本日は、私たち20歳を迎えた者にたちのために、このような素晴らしい場を設けていただき、心より感謝申し上げます。

そして、この場に臨席くださっているお父さん、お母さん、本当にありがとうございます。

私たちがこうして成人を迎えることができたのは、皆さんの支えがあったからこそです。思い返せば、好きなことに挑戦する機会を与えてくれたこと、部活動の送迎や応援で忙しい中でも私たちを支えてくれたこと、そして受験期には一緒に悩み、励ましてくれたこと、どれも欠かすことのできない大切な思い出です。

また、思春期には未熟な態度をとってしまうこともありましたが、それでも変わらずに私たちと向き合い味方でいてくれたことには、今になって本当に感謝の気持ちでいっぱいです。そのおかげで、私たちは自分の道を信じて進むことができ、今日という日を迎えることができました。

これからは、皆さんから受けたたくさんの愛情と支えに応えるために、私たち自身も努力し、感謝の気持ちを行動で示していきたいと思えます。まだまだ未熟な私たちですが、これからも温かく見守っていただければ幸いです。

お父さん、お母さん、これまで本当にありがとうございました。そして、これからもどうぞよろしくお願いします。



「感謝のこたば」渡邊爽羽さん



会場1 番乗り、森岡さん・梶根さん



会場2番乗り夏井さん・佐々木さん



1・2 番乗り夏井・梶根・佐々木・森岡さん

誓いの詞 代表者・才田 真琴さん

本日は、このような盛大な式典を催していただき、誠にありがとうございます。

私たちは、多くの人の支えがあり今日成人という人生の節目を迎えることができました。多くのことを私たちに教えてくださった先生、私たちを見守ってくださった地域の方々。そして、私たちを元気に育てどんな時でも側にいて寄り添ってくれた両親に心から感謝しています。

今、世界では紛争や戦争により恐怖と隣り合わせで生きている人、家族と離ればなれになってしまった人など日常を失われてしまった人が多くいます。



「誓いの詞 代表者・才田 真琴さん」

私たちも新型コロナウイルスによって、学校が休校になり、卒業式までの最後の日々を過ごすことができませんで

した。高校生活でも多くの行事に影響うけ満足に行うことができませんでした。今までの普通の生活が失われていくことを経験しました。あの時の、私たちにはどうすることもできない無力感は今でも忘れることができません。

この経験をしたからこそ、今の日常は決して当たり前ではないと思いました。また、今日こうして成人を迎えられ、みんなに会えることが幸せなのだと思います。

私たちは、この日常がどれほど幸せであるかということを胸に刻み、一日一日を、それぞれの夢に向かって一生懸命生きていきたいと思います。

成人を迎えることができましたが、私たちは、まだまだ未熟です。一人の社会人としての自覚と責任を持ち、名実ともに大人と認められるよう自分を磨き精進していきたいと思います。

これからも皆様に温かく見守っていただき、ご指導いただくことをお願い申し上げ、誓いの言葉といたします。本日はありがとうございました。



恩師と在校当時アルバを見て談笑



恩師先生方と記念写真



ビンゴゲームでのビンゴで一言、これからの抱負・感謝の気持ち

二十歳の記念イベント特大クラッカーで祝砲

皆様がこれから社会の一員として柔軟な発想力と若さあふれる情熱を生かして、活躍されることを心から期待するとともに、その力を最大限に発揮して、地域の発展に貢献されることを願って打ち上げました。



クラスごとの記念写真



A組



B組



C組



D組



E組



校区外







